

「土砂災害について」

福井県 福井市立灯明寺中学校 3年 ^{なかむら}中村 ^{かいと}海斗

近年では、今までの規模をはるかに超える集中豪雨や台風などによる土砂災害が各地で発生しています。記憶に新しいものでは、平成 29 年 7 月 5 日から 6 日にかけて発生し福岡県と大分県を中心に集中豪雨がおきて、朝倉市の住宅地をおそった大規模な土砂災害があります。最終的に、この土砂災害による被災地域の死者は 36 名、重軽傷者は 21 名にも上り、豪雨全体では 173 棟が全壊したのをはじめ、約 850 近くの家屋が損壊し、約 1800 棟以上の浸水の被害を受けたとのことで、集中豪雨や土砂災害などの自然災害はとても恐ろしいものだということが分かりました。

僕たちの暮らしている福井県ではどのような土砂災害などの自然災害があったのかを調べてみると、平成 16 年の 7 月に発生した福井豪雨による被害がありました。福井豪雨が発生していた当時、僕は 1 歳だったので覚えてないけど福井豪雨の話をおばあちゃんとおじいちゃんに聞いたり、美山地区や浄教寺地区などの大きな被害の記録映像などを見たりすることが出来ました。そのときは、自分が暮らしている所が昔はこんな豪雨や土砂災害にあったのかと思い、とても怖かったです。おばあちゃんは、

「福井豪雨のときは家の中に泥水がたくさん入ってきてその泥水をスコップなどで外に出す作業が一日中続いてとても大変だったよ。」と言っていました。それを聞いたとき、家の中にまで泥水が入ってくるなんてとても大きな災害だったのだなと思いました。おばあちゃんはさらに、「泥水を外に出しているとき、近所の人や親戚の人達が作業を手伝ってくれたからとても助かった。」

とも言っていました。それを聞いたときに災害は確かに人の命がなくなったりしてとても危険けれども、人と人が助け合う力を高めてくれるものだなとも思いました。なぜなら、被害にあわなかった人達は近くの被害にあった人達を助けに行ったり、遠くの地域の人達は募金活動に積極的に参加したりなどして人と人が助け合っているところをよく見るからです。災害がないとき以上に人と人が助け合う様子を見るととても大事なことだなと思います。

土砂災害などの自然災害から身を守るために、僕の町内では毎年防災訓練が行われています。その防災訓練は、最初に災害を知らせるサイレンが鳴り、指定された公園に集まります。人員を点呼して、逃げ遅れた人がいないかを確認します。特に、一人暮らしの高齢者や体の不自由な人達が逃げ遅れていないかを注意して確認します。その後、みんなで固まって避難場所の学校に行きます。

僕たちの町内では、災害に備えて倉庫があります。その中には、土のうやスコップや情報を得るためのラジオや停電時のための懐中電灯やロープなどが備えてあります。いざというときには、僕もみんなの役に立ちたいです。

僕はこういった土砂災害などの自然災害には対策が絶対に必要だと思います。例えば、土砂災害から身を守るために必要な対策は砂防ダムといったものです。砂防ダムは山などからの土石流をためてその流れを緩やかにして、町や村などにできるだけ被害をあたえないように設置されています。このような対策もありますが、僕たちの身近なところでも災害への対策はすることが出来ます。土砂災害などの自然災害がおきたときの、避難場所をしっかりと確認しておくことです。また、町内や学校での防災訓練に積極的に参加することもとても大切です。しかし、ただ単に参加するだけでなく、しっかりと本当におきた場合を想定して防災訓練を行うことが大切だと思います。さらに家庭内でも防災に対して備えておくことも大切です。例えば、水や食料を常備し、どこにあるかも家族全員が把握しておくこともとても大切です。

土砂災害などの自然災害は、いつ起こるかだれにも分かりません。そして、それを防ぐこともだれにも出来ません。なので、そういった自然災害には必ず対策が必要だということが、今回の作文を書くにあたり理解出来ました。現在から昔の自分を振り返ってみてみたら、自然災害への防災意識や防災対策がとても低かったなと思います。町内や学校で毎年行われる防災訓練には参加するものの、本当に起こるわけがないと思っていて、まじめに防災訓練を行えなかったところがあったからです。しかし、次からはまじめにしっかりと防災訓練を行おうと思います。なぜなら今回の作文を書くにあたり、自然災害は人の命が簡単になくなってしまふのを改めて知ったからです。なので、災害から自分の身を守るためにも対策や訓練は必要だと思います。